令和６年度善通寺市保育所審議会　議事録

１　日　時　　令和７年３月１３日（木）１５時００分～１５時４５分

２　場　所　　ZEN キューブ３階　講習室３

３　出席者　　委員４名

４　会議の概要
　１．保健福祉部子ども課長挨拶
　２．議事
　　（１）令和７年度保育所・こども園入所申込状況について
　　（２）その他

５　資料
　・【資料１】令和７年度　保育所・認定こども園入所児童数
　・【資料２】令和７年度　保育所・こども園申込総数

６　会議録
　１．　議事
　　（１）　令和７年度保育所・こども園入所申込状況について

〔事務局〕「【資料１】」、「【資料２】」に沿って説明。

〔会　長〕今年及び来年の状況について、各委員からの意見・質問があればお伺いしたい。

〔委　員〕３歳以上児の（幼稚園への）転園が少なくなってきている。

〔会　長〕校区ごとの状況もあろうかと思う。５歳まで保育所・こども園に残るところもあれば、そうではないところもある。善通寺市に限らず、幼稚園の在園児は少なくなっている。幼稚園よりも保育所・こども園に子育てのニーズが集まっている状態かなと感じる。乳児が減っているということだが、出生数が減っているということと連動しているのではないか。

〔委　員〕市外の施設に通う児童について、どのような取り扱いで在籍できているのか。

〔事務局〕従業員枠での利用や１号認定児童について、市外の対象施設へ入所している事例がある。

〔会　長〕途中入所希望者も含めて０歳児の申し込みが７２名、今後の転入者等による追加申込も踏まえ、（年間を通しての）受け入れは調整可能と見受けられる。

香川県以外の都市部では保育所のピークは過ぎている。香川の場合はこのような落ち込みをどのように下げないようにするか考えるか。

また、他市では外国籍の児童が増えており、日本語教室の定員がいっぱいになっているという話もある。まったく日本語が分からない、生活習慣が分からないといった子どもが保育所に入ってくるという話もある。こういった子どもにどのように対応するかといった難しさもある。香川県は小さな県の割に外国人の定住者が多い。こういった方々がどれだけ子育て支援サービスに流れてくるか学校教育の支援サービスに関わるか。外国人の方々の状況も地域によって特色があり、それによって行政の取り組み方も違うという話もあり、全国各地を見てみると難しさがあるとうかがえる。

〔委　員〕幼稚園での話となるが、子どもは日本語の習得が早いが、保護者のほうがなかなかなじめず、子どもが親の通訳のようになっているという話も聞いている。

〔会　長〕子どもは日本語を習得する一方、親が日本語を習得できていないと、今度は親子間の意思疎通ができなくなるという問題がある。そのほか、話しはできるが、字が読めないなどといった課題もある。その対策として日本語教室を作るなどの取り組みがある。外国人への対応も含め、１０年、２０年を見据えた取り組みをやっていく必要があるのではないか。

〔委　員〕子どもの課題だけでなく、保育士の課題（職員確保など）はどうか。

〔委　員〕退職・復帰・再雇用など職員の出入り合わせた確保や、経験のある職員と経験の浅い職員との差などが現場でも課題として出ている。

〔委　員〕外国籍の子どもの対応について職員確保の課題はあるか。

〔委　員〕現実的に外国籍の方を職員として確保するのは難しい。そのほか、働き続けてもらうために働きやすい環境づくりをしていくなどが課題。結婚、育児などにあわせた働きやすい環境づくりと職員配置との調整が難しいとの話も聞く。

〔会　長〕保育士を目指す人が減ってきている。保育士を目指す人をいかに発掘するか。

保育の分野の勉強をしている若い人も、途中で違う分野に移ってしまうこともある。そういった人たちを支える人が減ってきているし、どのようにフォローしていくかも課題となる。

〔会　長〕資料にある通り保育の申し込みがあり、今後、途中入所も含めて進んでいくということなので、市としてこの状態で対応を進めていただきたい。

（２）その他

〔事務局〕令和６年度保育所への苦情等は特になし。

保育所での事故について、香川県及び、消費者庁に報告した案件が３件あり。

－　閉会する　－